

<プレスリリース>

平成 30 年 7 月 12 日

硫 酸 協 会

平成30年度第 1 回総合硫黄源対策ワーキンググループの結果について

去る 7 月 11 日(水)に硫酸協会会議室にて、硫酸協会、その会員代表、関係団体並びに輸出関係の商社を委員とし、経済産業省の関係部局をオブザーバーとして標記ワーキンググループ（事務局 硫酸協会）が開催され、添付資料のように平成 30 年度の硫黄および硫酸の需要見通しが策定されましたので公表致します。

お問合せ等がございましたらご連絡のほどお願い致します。

【添付資料】

- | | | |
|------------|-------------------------|-------|
| 資料 No. 1-1 | 平成 30 年度総合硫黄源(硫黄分)需給見通し | 【概 要】 |
| No. 1-2 | 〃 | 【一覧表】 |
| No. 1-3 | 硫黄の輸出実績 | |
| No. 2-1 | 平成 30 年度総合硫黄源(硫酸分)需給見通し | 【概 要】 |
| No. 2-2 | 〃 | 【一覧表】 |
| No. 2-3 | 硫酸の輸出実績 | |

平成 30 年度総合硫黄源(硫黄分)需給見通し概要

1. 概要

(1) 供給

生産量は 1,714 千トン（前年度比 97.6%）で減少する見通し。

(2) 需要

国内需要量は 537 千トン（前年度比 102.7%）で増加する見通し。

(3) 輸出

輸出量は 1,177 千トン（前年度比 92.7%）で減少する見通し。

(4) 全体

上記結果を前年度と比較すると、期初在庫は 36 千トン減少し、生産が 43 千トン減少し、供給全体では 78 千トンの減少の見通しである。一方、国内需要は 14 千トン増加し、輸出は 92 千トン減少するため、期末在庫は増減しない見通しである。

2. 内訳

(1) 供給

石油精製からの回収硫黄生産量は、燃料油需要の減少などを考慮し、上期 829 千トン（前年同期比 97.6%）、下期 886 千トン（同比 97.6%）、年度計では 1,714 千トン（同比 97.6%）となり、減少見通しである。

(2) 内需

- ① 二硫化炭素：定期修理などから前年度より減少を見込む。
- ② 加工硫黄：上期および下期とも前年度よりやや増加を見込む。
- ③ カプロラクタム：前年度より増加を見込む。
- ④ 硫酸原料：工業向け硫酸の需要増などによる硫黄焙焼硫酸の生産の増加から、上期の硫黄需要が 161 千トンで、下期の硫黄需要が 160 千トンを見込み、全体では前年度より増加を見込む。
- ⑤ その他：石鹼洗剤、無機薬品、化成品、紙・パルプ等はほぼ前年度並みであるが、飼料添加物用などの大幅な増加を見込む。

(3) 輸出

中国向けを中心に前年度を下回る 1,177 千トン（前年度比 92.7%）を見込む。

以上

平成30年度 総合硫黄源(硫黄分)需給見通し

[単位:千トン]

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度実績			平成30年度見通し			対前年度比
					上期	下期	計	上期	下期	計	
供給	期初在庫	154	172	225	170	125	170	134	134	134	78.8%
	生産	1,735	1,759	1,812	849	908	1,757	829	886	1,714	97.6%
	合計	1,888	1,931	2,037	1,019	1,032	1,927	963	1,020	1,849	95.9%
需要	国内需要	526	515	487	251	272	523	265	272	537	102.7%
	二硫化炭素	33	40	37	19	19	38	14	14	28	74.2%
	加工硫黄	19	18	18	9	9	17	9	9	19	107.5%
	石鹼洗剤	9	8	9	5	4	9	4	4	8	95.6%
	カプロラクタム	139	133	104	55	50	105	54	54	108	102.9%
	硫酸原料	309	299	303	155	163	318	161	160	321	101.0%
	その他	17	17	15	9	28	37	24	30	54	146.0%
	輸出	1,190	1,192	1,380	643	626	1,269	563	614	1,177	92.7%
合計	1,716	1,707	1,867	894	898	1,793	829	886	1,715	95.6%	
期末在庫		172	225	170	125	134	134	134	134	134	99.9%

注 平成30年度の硫黄生産量および輸出量は硫酸協会の推測値

硫黄の輸出実績

[単位 S トン]

年度	平成20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	28年度上期	29年度上期	対前年同期比
中国	1,117,797	1,186,238	1,155,994	1,050,522	1,021,664	1,050,496	983,161	1,027,035	1,140,925	1,057,275	613,713	548,934	89%
韓国	45,389	17,137	31,160	46,597	31,018	29,815	38,778	22,275	24,908	21,559	9,916	10,599	107%
台湾	2,609	2,608	4,658	9,524	1,700	11,125	1,345	30	21,228	8,033	13,163	5,314	40%
フィリピン	9,114				18,293		408	2,465	3,960	4,746	1,479	2,278	154%
タイ	1	1	460	632	800	1,719	12,991	15,022	9,842	9,025	4,053	4,966	123%
マレーシア	16								352	400	48	192	400%
ベトナム	17					2	4,398	7,195	15,893	16,687	8,565	7,758	91%
インドネシア	93,770	61,770	45,926	53,683	75,647	113,681	113,332	53,634	87,608	68,627	35,499	29,260	82%
インド	59,968	74,957	19,982	1	5	27,496	35,997	64,200	70,239	74,273	37,359	29,755	80%
トルコ									176	368	32	160	500%
ブラジル									432	435	96	211	220%
アメリカ	96								1,919	2,976	400	1,462	366%
イタリア	160								2,500	3,140	500	940	188%
スペイン										1,540		1,540	-
その他	417	17	18				1	17	176	236	16	128	
計	1,329,354	1,342,728	1,258,198	1,160,959	1,149,127	1,234,334	1,190,411	1,191,873	1,380,158	1,269,320	724,839	643,497	89%

(財務省貿易統計)

平成 30 年度総合硫黄源(硫酸分)需給見通し

1. 概要

(1) 供給

平成 30 年度の硫酸生産量は前年度比 105.4%、334 千トン増の 6,556 千トンの見込み。

(2) 内需

平成 30 年度の国内需要量は前年度比 102.7%、97 千トン増の 3,701 千トンの見込み。

(3) 輸出

平成 30 年度の硫酸輸出量は前年度比 113.8%、354 千トン増の 2,917 千トンの見込み。

(4) 全体

上記結果を前年度と比較すると、期初在庫は 54 千トン増加し、生産が 334 千トン増加するため供給全体では 388 千トンの増加となる。一方、国内需要は 97 千トン増加し、輸出が 354 千トン増加し、期末在庫が 62 千トン減少する見込みである。

2. 内訳

(1)供給

H30 年度上期では、銅製錬出の硫酸生産は前年同期比 4.4%の増、亜鉛製錬出の硫酸生産は前年同期比 9.3%の増、下期では、銅製錬出では前年同期のような製錬所の定期修理の予定がなく、前年同期比 9.0%の増となり、亜鉛製錬出では前年同期比 4.5%の増加である。H30 年度の製錬ガス出全体では前年度比 106.6%、328 千トン増の 5,273 千トンを見込む。また、硫黄焙焼全体では前年度比 100.6%、6 千トン増の 1,120 千トンを見込む。その他出では前年度並みの推移で 163 千トンを見込み、生産全体では前年度比 105.4%、334 千トン増の 6,556 千トンを見込む。

(2)内需

- ① H30 年度の副生硫酸はほぼ前年度並を見込むが、リン酸肥料向けは 3.0%需要減の見通しであり、肥料用全体では前年度比 98.8%、4 千トン減の 302 千トンの需要を見込む。
- ② カプロラクタム向けでは、そのポリマーのナイロン 6 はナイロン繊維およびフィルム、成形品等に使用されているが、中国の環境規制による操業率低下などでタイトであることから、前年度比 101.0%、2 千トン増の 249 千トンの需要を見込む。
- ③ 酸化チタン向けでは、インキ・塗料用に使用されているが、欧州の設備トラブルおよび中国の環境規制による操業率低下などでタイトであることから、前年度比 106.0%、27 千トン増の 481 千トンを見込む。
- ④ 製紙関連、排水処理用の硫酸アルミニウム向け、透明樹脂用の MMA モノマー、鉄鋼及び紙・パルプ向けは前年度並みの需要を見込む。
- ⑤ フッ化水素酸向け需要増から、前年度 103.0%、3 千トン増の 108 千トンを見込む。
- ⑥ 中和石こう向けはセメント輸出が堅調であり東京オリンピック・パラリンピック関連工事への期待などから、前年度比 101.6%、6 千トン増の 254 千トンを見込む。
- ⑦ 内需全体では 102.7%、97 千トン増の 3,701 千トンを見込む。

(3)輸出

海外の硫酸需要は活発であり、H30 年度は前年度より硫酸生産が上回るため輸出向けは前年度比 113.8%、354 千トン増の 2,917 千トンを見込む。輸出量の大部分は前年度と同様にフィリピンを中心とした、インド、タイ、中国等向けを見込む。

以上

平成30年度 総合硫黄源(硫酸分)需給見通し

[単位:H₂SO₄ 100% 千トン]

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度実績			平成30年度見通し			前年度比
					上期	下期	計	上期	下期	計	
供給	期初在庫	223	219	285	208	277	208	262	200	262	126.0%
	生産	6,443	6,295	6,342	3,214	3,008	6,222	3,351	3,205	6,556	105.4%
	製錬ガス	5,150	5,066	5,110	2,577	2,369	4,945	2,710	2,564	5,273	106.6%
	銅出	4,322	4,270	4,312	2,210	1,971	4,181	2,308	2,149	4,457	106.6%
	亜鉛出	827	796	798	367	397	764	401	415	816	106.8%
	硫化鉍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	硫黄焙焼	1,137	1,074	1,074	553	560	1,114	557	562	1,120	100.6%
	その他	156	155	158	84	79	163	84	79	163	100.0%
合計	6,665	6,514	6,627	3,422	3,285	6,430	3,613	3,405	6,818	106.0%	
需要	肥料	323	318	319	147	159	306	145	157	302	98.8%
	カプロラクタム	349	295	246	117	130	247	118	131	249	101.0%
	酸化チタン	410	408	429	235	219	454	249	232	481	106.0%
	硫酸アルミニウム	270	269	269	132	133	265	132	133	265	100.0%
	フッ化水素酸	111	108	102	52	53	105	53	55	108	103.0%
	MMAモノマー	123	119	124	58	66	124	58	66	124	100.0%
	鉄鋼	39	32	31	17	15	32	17	15	32	101.0%
	紙・パルプ	94	96	102	49	46	95	49	46	95	100.0%
	中和石こう	274	236	249	116	134	250	118	136	254	101.6%
	鉍山・製錬	80	73	67	33	42	75	35	44	79	106.0%
	その他	1,593	1,518	1,540	806	847	1,652	834	877	1,711	103.6%
	国内需要	3,665	3,472	3,479	1,762	1,843	3,604	1,810	1,891	3,701	102.7%
輸出	2,781	2,757	2,941	1,383	1,181	2,563	1,604	1,314	2,917	113.8%	
合計	6,447	6,228	6,419	3,145	3,023	6,168	3,413	3,205	6,618	107.3%	
期末在庫	219	285	208	277	262	262	200	200	200	76.4%	

硫酸の輸出実績

(H₂SO₄ 100%, 1,000t)

年度	平成20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	28年度上期	29年度上期	対前年同期比
中国	762.9	946.8	506.3	295.7	250.8	127.3	100.4	37.0	232.4	112.0	112.5	74.7	66%
韓国	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95%
台湾	192.0	191.9	189.2	161.6	195.2	170.8	134.7	131.5	162.0	193.3	83.4	103.0	124%
フィリピン	341.4	544.2	498.3	580.6	654.2	921.2	1,376.8	1,265.7	1,151.0	902.1	528.6	526.3	100%
マレーシア	10.7	10.3	5.2	10.6	44.3	68.2	47.8	80.9	99.4	173.7	40.4	103.5	256%
インドネシア	29.6		34.8	11.8	75.4	159.5	15.5	75.5	61.5	19.9	61.5	0.0	0%
ベトナム	13.5	10.1	0.1	5.0	25.0	29.6	5.0	10.0	25.8	26.2	15.8	5.2	33%
シンガポール	6.8	17.4	16.4	15.7	18.9	14.1	3.6	15.5	12.7	6.3	7.6	6.3	83%
タイ	24.8	93.8	79.0	73.1	79.8	178.1	132.5	199.3	249.0	251.8	90.4	135.0	149%
インド	265.0	231.5	300.5	289.4	330.1	269.8	389.7	574.6	531.2	303.0	449.2	158.8	35%
オーストラリア	112.9	48.9	46.7	8.0	199.3	102.0	82.8	58.5	57.3	10.0	27.4		0%
ニュージーランド					19.4	11.5	45.0	10.0	31.2	31.5	10.5	21.5	205%
ラオス									39.0	127.7		61.1	-
モロッコ			27.3					20.0	19.4	19.2	19.4		-
ナミビア	20.2	18.9	22.0										
アメリカ	72.3	37.4	58.6	18.5					0.0				
メキシコ		19.0	37.4	37.1	139.3	46.9	17.7	18.8	98.5	112.5	80.4	70.5	88%
ブラジル	18.7		50.8	62.0	25.4								
チリ	391.9	417.9	802.7	576.7	836.6	552.8	429.5	259.3	170.2	274.1	63.7	116.9	183%
アルゼンチン			42.1	13.4	13.0								
その他	0.1		21.0	0.0	18.9	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
計	2,262.9	2,588.2	2,738.4	2,159.1	2,925.6	2,651.8	2,781.0	2,756.6	2,940.6	2,563.5	1,590.9	1,382.9	87%

(財務省貿易統計)